

県民の森 冬芽の観察コース

—花だより 12・1月合併号—

落葉低木～小高木。冬芽は混芽(こんが)と葉芽(ようが)がある。春に、混芽から葉と花序が同時にのび出す姿は印象的。黄白色ときに淡紫色を帯びた小さな花を多数つける。(レンブクソウ科) (ガマズミ科)



落葉低木。冬芽は裸芽(らが)で、灰褐色の星状毛におおわれた幼葉が向きあっている。冬芽の対生する姿はおもしろい。夏に淡紅紫色の花をつける(シソ科)



落葉高木。アヒルのくちばしのような冬芽, まるい葉痕(ようこん)ともに形がおもしろい。5～6月、チューリップのような形の花をつける。別名: チューリップツリー。北アメリカ原産。(モクレン科)



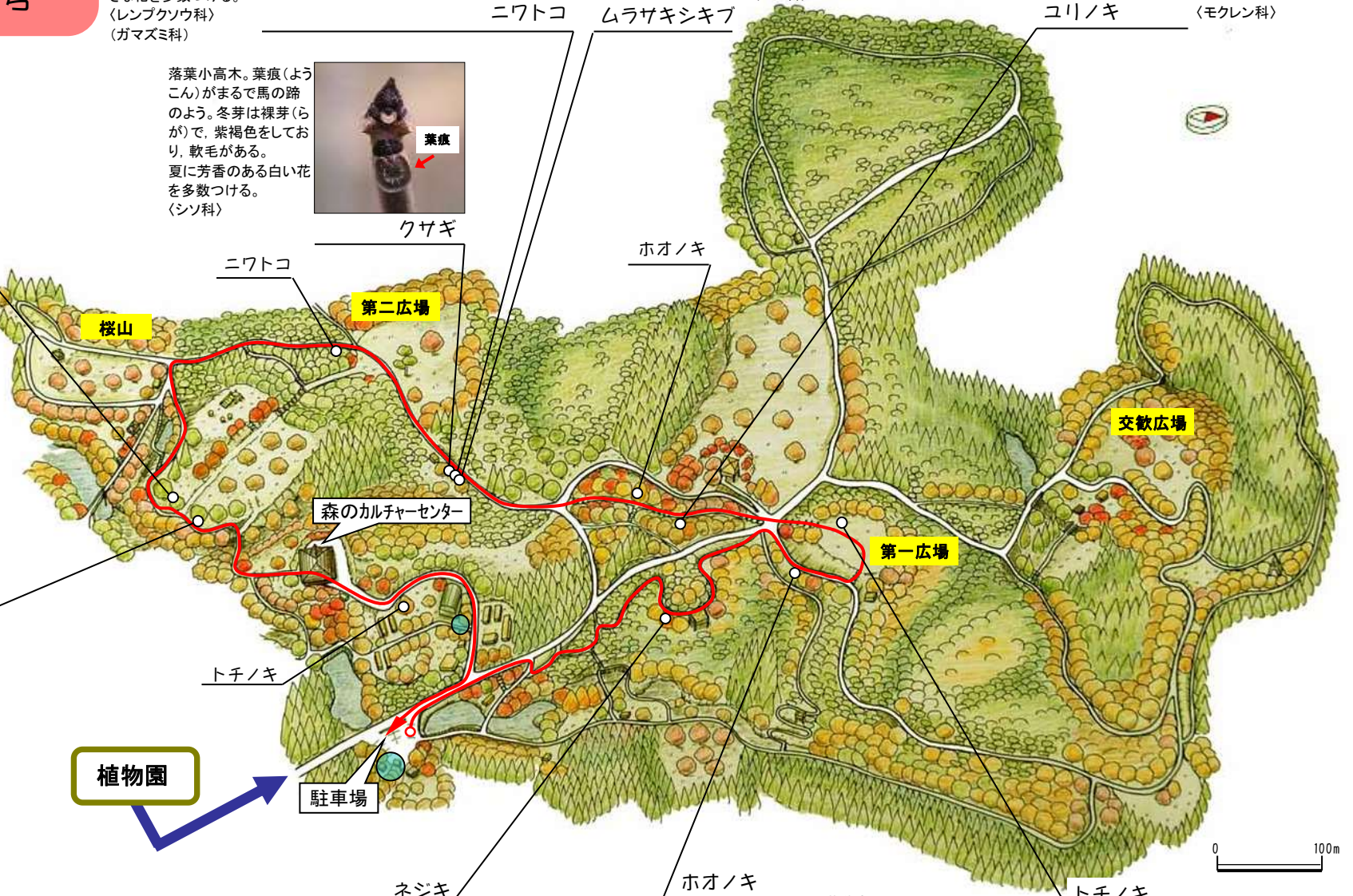
幹のようす
花芽
アメリカヤマボウシ (ハナミズキ)

落葉高木または小高木。冬芽は葉芽(ようが)と花芽(かが)がある。花芽はネギ坊主そっくりで、葉芽は細長く、先がとがる。長方形の深い割れ目が入り、ごつごつした肌の樹皮が特徴。庭木、街路樹、公園樹として人気が高い。(ミズギ科)

落葉小高木。葉痕(ようこん)がまるで馬の蹄のよう。冬芽は裸芽(らが)で、紫褐色をしており、軟毛がある。夏に芳香のある白い花を多数つける。(シソ科)



葉痕
クサギ



落葉高木。花芽は3月下旬に発育し、開花前は北側に曲がる。よく光が当たる南側がとくに生長してふくらむためである。中国原産。(モクレン科)



花芽
葉芽
ハウモクレン

植物園

駐車場

ネジキ

落葉低木～小高木。枝や冬芽が美しいので花材に使われる。若い枝は黄緑色または赤褐色。生長すると、幹がねじれるのが特徴。5～7月に白い花をつける。



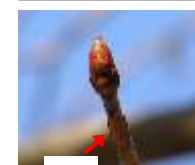
ホオノキ

落葉高木。大きくのっぺりとした冬芽。キャップ状の芽鱗(がりん)に包まれる。葉は、岐阜県高山の名物として有名な朴葉味噌(ほおぼみそ)に使われる。



トチノキ

落葉高木。冬芽は大きく、樹脂でべとべとしている。葉痕(ようこん)も大きい。春に、先端の芽から葉と花序が同時にのび出す姿は印象的。



● トイレ

→ モデルコース：歩いて約90分

